



こちらから、さまざまなリノベーションの事例をご覧いただけます。



bed room

ベッドルームに必要なものといえば「くつろぎ感」ですが、夫婦ふたり暮らしの場合は、そこに「機能性」をプラス。ウォークスルークローゼットや洗面室や浴室への動線を確保することで、日々の快適さが一段とアップします。



wine cellar

ワイン好きなら誰もが夢見るワインセラー。壁に組み込めば、愛蔵コレクションがラグジュアリーなインテリアに。

living & dining & kitchen

カウンターキッチンの魅力は、包丁さばきから盛り付けまで、料理が出来上がるまでのプロセスをゲストたちと一緒に楽しめること。鉄板をカウンター上に組み込むなど、お店さながらの仕様にすれば、エンターテインメント性も高まります。食後は飲み物を片手にリビングへ。止まらないおしゃべりが、何よりのごちそうかも？！



調理中の手元はできるだけ見えないうちに…という場合は、「立ち上がり」のあるカウンターキッチンがおすすめです。



AFTER



entrance hall

住まいの第一印象を決める玄関は、広さや明るさはもちろん、そこから見渡す「眺め」にも気を配りたいもの。このプランでは、パブリックスペースの開放感、カウンターキッチンや壁が描く柔らかな曲線など、家族の想いやこだわりがひと目で伝わる空間づくりを目指しました。



床は白いタイルでスタイリッシュに。1枚のサイズが大きいほど広々とした印象になります。

balcony

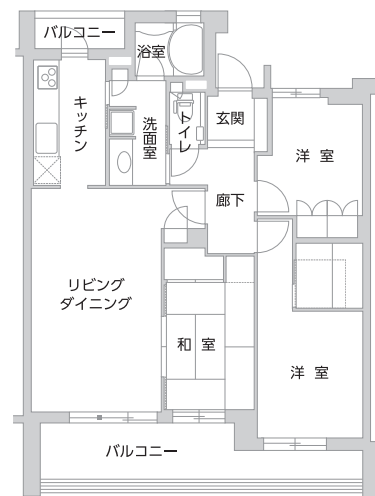
ミニトマトのサラダ、パジルのパスタ、ミニトマト…。プランター菜園で育てた新鮮な野菜やハーブを使えば、シンプルなメニューがたちまちスペシャルに！

pantry & nook

食材のストックなど何かと便利なパントリーは、少し広めにしておく（簡単な食事や趣味に使うくつろぎスペース）兼用に。1日の始まりにゆっくりコーヒーを飲んだり、インスタグラム用に料理の写真を撮ったり。暮らしのちょっとしたアクセントになります。



BEFORE



住居専有面積約87㎡の3LDK。子どもが独立したため、夫婦共通の趣味である「食」にフォーカスした間取りに。ゲストに心地よく楽しんでもらう工夫はもちろん、プライベート空間の充実にもこだわりたい。



作る。食べる。もてなす。
「食」を暮らしの真ん中に！

セミプロ仕様でモチベーションアップ！

ダイニング・キッチンは、大きなカウンターにすることでモダンな割烹風に。冷蔵庫をカウンター下に設置するなど設備をセミプロ仕様にする。腕前もモチベーションも上がることに請け合います。また、和・洋・中、料理の種類に合わせた調理器具や食材のストックなど、料理好きのキッチンまわりはモノであふれがち。そこで重宝するのが、パントリーです。工夫次第で気の利いたくつろぎスペースになる点にも注目！

※掲載プランはひとつのアイデアであり、リノベーション可能な範囲内容は住戸によって異なります。

料理教室に試食会、広がる夢に向けて。

穴場の店を探して食べ歩いたり、旅先で酒蔵やワイナリーを訪ねたり、馴染みの店のシェフにレシピを聞いて家で再現してみたり。つねに「食」が楽しみの中心にある、という「家族は、住まいも「食」を中心に見つめ直すことが人生の満足感へとつながるかもしれません。もし、子どもが独立して夫婦ふたり暮らしなら、思い切って「食空間」をメインにした間取りに変更してみたいかがでしょうか。友人やご近所さんが気軽に集うサロンのような料理教室。新作メニューの試食会。いつかこんなことができたら、と温めていた夢をぜひ実現してください。

食べることが好きで、作るのもっと好き。友人たちも、わが家での食事やお酒を楽しみにしてくれている。そんなおもてなし上手の「家族の憧れ」といえば、まるでお店のようなダイニング・キッチン、ではないでしょうか。そこで今回は「食空間」をテーマに、水まわりを大胆に移動させるリノベーションをご紹介します。



どこまでできる？ 水まわりの移動

キッチンやバスルームなど水まわり設備の移動の際にポイントとなるのが、「排水勾配」です。床下空間の高さが大きく確保されている場合は排水管の勾配がつけやすく大胆な移動が可能です。床下空間の高さがあまりない場合には制約が生じます。管理規約や構造を確認した上で検討しましょう。

